

はかた中だより

第12号

令和4年11月11日

校訓 自らが学ぶ

学校の教育目標

豊かな心を持ち

主体的に行動する生徒の育成

TEL: (0897) 72-1055

FAX (0897) 72-1053

校内文化祭開催

11月3日(木)文化の日に、校内文化祭を開催しました。大勢の保護者の皆様や学校運営協議会の委員さん達に見守られ、生徒たちは練習の成果をいかに発揮し、体育館いっぱいに文化の華を咲かせてくれました。ご覧になられた保護者の皆様は、生徒たちの確かな成長を感じ取っていただけたことと思います。

1. 吹奏楽部の演奏会

吹奏楽のすてきな演奏で、文化祭がスタートしました。観客を巻き込んでの楽しい演出があったり、幻想的なアラジンメドレーの美しい音色を響かせてくれました。吹奏楽部の音色は、聞かされたときに確かな成長を感じます。一人一人の音色がきれいになっていくだけでなく、6人の音の重なりが見事になっています。12月26日(月)には、アンアンプルコンテストがあります。どんなすてきな演奏をしてくれるのか、今から楽しみです。



2. 総合的な学習の時間の発表

1年生は、総合的な学習の時間に、大好きな伯方島の良さを再発見する学習に取り組んでいます。そんな中で、伯方島の大きな課題である人口減少に気づき、それを防ぐためにはどうすればよいかを考えてくれました。生徒たちの豊かな感性に基づく斬新なアイデアは、「町おこし」についての、すばらしい提案でした。



2年生は、今年、今治市の中学校で唯一である「ものづくり体験講座」を受講しています。6月には造船所に出向き、ダイナミックな進水式を見学しました。9月には弓削丸に乗船し、国立弓削商船高等専門学校を訪問し、商船科や情報工学科、電子工学科について学んだり、3Dプリンターを使ったりセグウェイに載せていただいたりしました。先日は、造船所や愛媛県立今治工業高校、タオル会社を

訪問し、豊かな体験をさせていただきました。その合間に、様々な座学も受けています。今治市の優れた地場産業を学ぶとともに、自己の将来を考える上で、貴重な体験を積み重ねています。文化祭では、その中間発表を行いました。本番は、12月14日(水)の午後、今治市長様や教育長様をお招きし行います。近いうちに、2年生の保護者の皆様には案内状を出す予定です。大勢の保護者の皆様のご来校を、心よりお待ちしております。





3. 人権劇発表

3年生による人権劇、「魔術」の発表には心が震えました。「SNSによるいじめ」をテーマにした人権劇でしたが、どの生徒も役の人物になり切って演じることができていました。演じた3年生も観客となった1・2年生も、「人を深く傷つける書き込みなどは決してしない」という気持ちを、心に強く植え付けてくれたことと思います。3年生の皆さんありがとうございました。2年生の皆さん、来年はあなたたちの番ですよ。差別を無くすには、正しい知識を学ぶことと人に流されない強い意志を持つことが大切です。学びを継続し、差別を残す側ではなく差別をなくす人になりましょう。



4 合唱コンクールと全校合唱

3学年とも、学年の発達段階に応じたすばらしいハーモニーを、体育館いっぱいに響かせてくれました。1年生は、特に、テノールの柔らかい歌声が印象的でした。2年生は、昔を懐かしむようなすてきな歌を披露してくれました。歌声に引き込まれ、歌詞をかみしめながら聞き入ってしまいました。3年生の歌は、東日本大震災からの復興を祈った歌で、全員がそのメッセージを伝えようと一生懸命歌っているのが伝わってきて、感動で、身が震え涙がこぼれました。

全校合唱も、東日本大震災をテーマにした曲でした。「伯方中学校の歌声ここにあり！」と言わんばかりの合唱に感動しました。「歌っていいなあ」と再確認できたこと、本当にありがとうございました。



5 有志発表



ギターの弾き語りと、リズムカルでテンポの速いダンスを楽しませてくれました。ギターの弾き語りはプロはだして、びっくりでした。5人組のダンスチームは、息がピッタリ合っていて見事でした。見る側を楽しませてくれましたが、本人たちもよい思い出となったことと思います。



見る側を楽しませてくれましたが、本人たちもよい思い出となったことと思います。

【家族の絆エッセイ(第2弾)】心温まるエッセイを紹介します。

「私のお父さん」 3年生女子

私のお父さんは、私が中学1年生のころから単身赴任で、一週間に一度しか家に帰ってきません。単身赴任をする前から、お父さんは仕事から家に帰ってくるのが遅くて、しっかり会話できるのも日曜日だけだったので、「寂しくない。」と自分に言い聞かせていました。ですが、毎日聞いていた、「おはよう。」や「行ってらっしゃい。」の言葉が聞けなくなることは、とても辛かったです。お父さんのたった一言で、「今日も学校頑張ろう。」と思えていましたが、その声が、ほとんどの日は聞くことができません。心に大きな穴が、ぽっかりと開いているような寂しい気持ちになりました。日曜日になって単身赴任先から帰ってきたお父さんの口から、「おはよう。」の声を聞くことができると、とてもうれしくて、家に家族みんなで集まる温かさを知りました。平日に会えない分だけ、お父さんと交わす挨拶がうれしく感じます。お父さん、家族のために頑張ってくれてありがとう。日曜日、待ってます。

